

保土ケ谷区民会議ニュース

やまびこ



編集 保土ケ谷区民会議 広報委員会
 発行 第24期 保土ケ谷区民会議
 事務局 〒240-0001
 横浜市保土ケ谷区川辺町2-9
 保土ケ谷区 区政推進課広報相談係内
 TEL 334-6221 FAX 333-7945
 令和5年3月15日発行

第24期を終えるにあたり

区民の皆さまには、日頃より保土ケ谷区民会議の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。区民会議は、この3月をもちまして第24期（令和3年4月～令和5年3月）が終わり、4月より第25期（令和5年4月～令和7年3月）がスタートいたします。



コロナの感染が初めて確認されてから丸3年となりますが、未だ終息（収束）に至らず、感染拡大の波は現在第8波と言われています。第24期は、まさにコロナの禍中に在った2年間といえます。

前半1年間は、第5波と第6波。「地域のつどい」「区民のつどい」共に中止とし、分科会の休会も続き、区民会議の活動も自粛・縮小せざるを得ませんでした。様々な規制・抑制がかかり、私たちの活動も大幅に制限されることになりました。

後半の1年は、with コロナの考えのもと、「地域のつどい」はアンケート形式で、「区民のつどい」は3年ぶりとなる保土ケ谷公会堂での開催を実現することが出来ました。「フードドライブ」・「廃食油回収」の実施、基本である5つの分科会活動（環境・教育・交通・災害・福祉）も、其々のテーマの基、専門性のある活動を展開しました。再開された区のイベント「花フェスタ」や「区民まつり」にも参加しました。

第24期はコロナに翻弄された2年間ではありましたが、この経験をしっかりと今後に生かし、堅実に「今」を積み重ね、気持ちも新たに第25期へ繋げたいと思います。

第24期を終えるにあたり、ご協力いただきました区民の皆さま、自治会・町内会、区内各組織・団体、行政（区役所、警察署、消防署）、学校関係の皆さまに、心より感謝申し上げます。2年間、ありがとうございました。

保土ケ谷区民会議代表委員 小林 由美子

令和4年12月2日（金）保土ケ谷区役所区長室において、令和4年度書面「地域のつどい」で区民の皆さまより寄せられた、提言・要望事項についての回答書が、出口保土ケ谷区長より、区民会議小林代表にわたされました。

環境・ごみ・防犯・防災など9項目、17件の要望に対し、それぞれの担当部署による約2か月に渡る調査・検討の結果がまとめられたものが、この回答書です。



令和4年11月12日（土）午後1時より、令和元年度以来3年ぶりに「区民のつどい」を、保土ケ谷公会堂を会場に区民の皆さまに集まっていただいて開催することができました。



【観客席〇×クイズ】

「フードドライブ」と「廃食油回収」の取り組み

第24期は、「花フェスタ」「区民まつり」「区民のつどい」と区役所前広場朝市の各会場にて、11回の「フードドライブ」と9回の「廃食油回収」に取り組みました。

ご提供いただいた食品は区社協を通じ生活困窮者の方々や施設に配布し、廃食油は専門業者が回収・加工して温室用ボイラーの燃料などの貴重なエネルギー源として活用されています。

「地域のつどい」提言・要望の回答（抜粋）

環境

＜要望＞星川駅北口の星川下橋について

線路の工事もようやく終わり、星川駅北口の広場が生まれ変わりました。かるがも小径も先日工事が終わりがきれいになりました。しかし、駅とかるがも小径をつなぐ星川下橋の景観が良くないと思います。橋はサビが目立ち塗装のはがれもありますので、この際、きれいにしてくださいをお願いします。

＜回答＞

横浜市管理の橋梁は、5年に1度点検を実施し、補修の必要性や優先度を検討しています。星川下橋については、構造上の不具合等は見られず、大規模な補修の必要性は低い状況ですが、駅周辺の整備が進んだこの機会に、錆が目立つ部分に関する補修を進めます。

保土ヶ谷土木事務所（電話：045-331-4445）



高齢者・障がい者

＜要望＞西谷駅南口のエレベーター設置、エスカレーターについて

西谷駅の南口にエレベーターか、もう一つエスカレーターの設置を希望します。階段は広いので作れると思います。困っている人（ベビーカーの人、荷物がある人、足をけがしている人、高齢者や障がい者）をたくさん見ました。

＜回答＞

西谷駅南口のバリアフリー化については、相模鉄道株式会社に対し継続して要望するとともに、本市も相模鉄道株式会社と連携し、検討を行ってきましたが、エレベーターやエスカレーターを設置するには、構造的な課題があることが分かりました。今後は、駅舎の部分的な改修や増築、建て替えも視野に入れながら、エレベーターの設置等によるバリアフリー化について、さらに検討を進めます。

都市整備局 都市交通課（電話：045-671-3541）



道路・交通

＜要望＞帷子橋の舗装について

帷子橋のデコボコが気になります。補修できないでしょうか。

＜回答＞

帷子橋につきましては、将来的に補修を行う予定がありますが、具体的な実施時期については未定であることから、今回のご指摘を踏まえて、取り急ぎ簡易的な補修を実施しました。

保土ヶ谷土木事務所（電話：045-331-4445）



【補修する前の現場】

コロナ関係

＜要望＞ 罹患した場合の対応について

コロナに罹患した場合の行政の対応（医療関係も含む）について教えてください。

＜回答＞

保土ヶ谷区では、保健所支所として、区内医療機関から新型コロナウイルス感染症にかかる発生届を受理するとともに、区内にお住まいの陽性患者様への対応を行っています。陽性の患者様には、神奈川県健康医療局医療危機対策本部室の方針に基づき、届出がされた方に体調悪化時の連絡先であるコロナ119の案内等を行い、適切に医療につなげられるよう療養支援を実施しています。（11月2日時点）

保土ヶ谷区 福祉保健課（電話：045-334-6344）

※紙面の都合により回答の一部を抜粋して掲載させて頂きましたが、保土ヶ谷区民会議のホームページ【保土ヶ谷区＞区政情報＞広聴・アンケート＞保土ヶ谷区民会議】には全件掲載されていますので、ぜひご覧ください。

第24期分科会活動報告

【環境分科会】 第24期環境分科会では、23名のメンバーで活動を開始し、「未来へつなごう水・緑・資源」のもと、「自然環境」「ゴミ問題」「エコ問題」の3部門に分れて活動してきました。

自然環境では、ホタルの鑑賞会を2年ぶりに実施、身近な生物を通じた自然の大切さを学びました。

コロナ禍で増加傾向の家庭ごみの処理の現場や資源ごみのリサイクルに向けた作業の実態を見学し、合わせて、ごみ処分に係る地球温暖化ガスの削減を学習、また、保土ヶ谷朝市開催時などの区内イベント会場において廃食油の回収を実施（開始以来1,200ℓ以上の回収実績）し、環境改善の一助となるよう活動してきました。さらに、初めての取り組みとして、エシカル（倫理的な活動）について、横浜市の出前講座の勉強会を行い、環境に配慮した商品を選ぶ、地域の産物を消費など環境維持活動にも深くかかわるものであることを知り、今後も環境分科会の活動の一環として学んでいきます。

これからも引き続き、同様な活動を通じ、環境の改善にかかわる活動をしていく予定です。



【私たちの活動がかかわるSDGsの目標】



【ご提供いただいた廃食油】

【教育分科会】 教育分科会では「子どもは未来のだから 地域ぐるみで子育てを」というテーマで活動してきました。今期は ①あいさつ運動の推進 ②教育現場の実情を知る ③地域の子育ての実情を知る、の3つの柱を中心に活動しました。

①あいさつ運動の推進では、これまで使用してきた「あいさつポスター」の改良版を作成しました。コロナ禍で表情も分かりづらい中ですが、あいさつの推進を後押し出来るよう、掲示板や保土ヶ谷区ホームページなどを活用し、積極的に発信していく予定です。

②教育現場の実情を知るでは、令和4年1月11日に横浜市立宮田中学校、令和5年2月14日に横浜市立新井小学校を訪問しました。

③地域の子育ての実情を知るでは、「知っているのと役に立つ地域の子育てQ&A」冊子を作成しました。「支援が必要な子どもや保護者へのサポート」「みんなde食堂」「放課後の子どもの居場所」「子ども会」「189（イチハヤク・児童相談所虐待対応ダイヤル）」のテーマについて調べ、掲載しました。冊子は令和4年度「区民のつどい」にて来場者に配布し、活動発表も行いました。また、全分科会に配布して子ども会や民生委員等に配布した地域もあります。今後は冊子を活用してブラッシュアップを図っていきたいと思います。

第24期 保土ヶ谷区民会議 教育分科会
令和4年度「区民のつどい」活動発表

「知っているのと役に立つ
地域の子育てQ&A」



HODOGAYA KUMINKAI
保土ヶ谷
区民会議
Since 1974

2022年10月 現在

第24期分科会活動報告

【交通分科会】 相変わらずコロナに振り回された2年でした。

そのような渦中にもかかわらず、皆さんの協力により「区民のつどい」用の動画を立派な物に仕上げる事が出来、好評を得ました。

法令の度重なる改正により、参考にしていました県や市の交通ルールブックが変わり、我々の計画に多々支障が生じ、足踏み状態が続いております。法令等を熟読、精査し区民の皆様に分かりやすいチラシ、動画作りを協議、検討しています。

第25期も、法令で規制する乗り物が増えている状況に対応出来る広報資料の作成に努めて参ります。



【保土ヶ谷駅西口での自転車マナー啓発運動】

【災害分科会】 災害分科会は、保土ヶ谷区全域で実施されている「20万区民の自助・共助による減災運動」を支援し「家庭や地域の防災力」を高めるため、区民の皆さまに役立つ情報提供ならびに委員自らの学習などの活動を行ってきました。主な活動として、以下の事を実施してきました。

(1) 勉強会の開催：「危機管理室の仕事」について、区役所総務課危機管理・地域防災担当係長にお話をして頂きました。

(2) DIG出前講習会：DIGとは、災害のDisaster (D)、想像力のImagination (I)、Game (G)の頭文字を取ったもので、災害を想定した地図上で行う訓練の一つです。今までに、瀬戸ヶ谷町の4自治会、今井町自治会役員等、瀬戸ヶ谷小学校地域防災拠点管理運営委員を対象に実施してきました。



【出前講習会】

(3) HUG出前講習会：HUGとは、避難所の(H)、運営の(U)、ゲームの(G)の頭文字を取ったもので、避難所の運営に生かす事ができる机上の訓練です。瀬戸ヶ谷小学校地域防災拠点管理運営委員を対象に実施しました。※DIG・HUG出前講習会のお申し込みをお待ちしております。

(4) 川辺町防災協会主催「自然災害シンポジウム」開催への協力：保土ヶ谷区は河川と傾斜地が多く、豪雨に対してとても脆弱な地域であることから、行政が発信する情報をどのように理解して行動すべきか、行政担当者の方々にお話をお聞きする「自然災害シンポジウム」に災害分科会として実行委員会にも出席し、資料の作成等や当日の運営に協力をしました。

【福祉分科会】 この2年 with コロナの中、「SDGs 学習」「ポッチャ体験」「聴覚障害の学習」「コロナの現状・対応」から「ヤングケアラー」「フードドライブ」「こども食堂・みんなの食堂」「高齢化問題」「8050」「ひきこもり」「障がい者」「区民のつどい」でのしんちゃんとの発表等、福祉という広い範囲の中から多くを学び、考え、地域への発信も行ってまいりました。各委員がそれぞれの場でも新たに考えながら多くを発信しています。この多様化の新しい時代「誰一人取り残さない」で「すべての人に健康と福祉を」を目指して「地域とのパートナーシップ」をつなぎ進めて行く事を分科会委員全員で確認しております。色々な分野の委員の活発な意見を生かしながら、「未来へつなごう！人にやさしいまちづくり」の大テーマのもと、行政と区民のパイプ役となって、多くの「笑顔」を増やせるように発信活動を続けてまいります。



【腹話術人形のしんちゃんと委員】